

赤十字会員増強運動月間 活動資金第一号贈呈式

5月1日、沖縄県庁において、「赤十字会員増強運動月間」に関する知事メッセージの発表および、令和8年度活動資金第1号贈呈式が執り行われました。

知事メッセージの発表では、昨年7月に南北大東島へ被害をもたらした台風第8号に触れ、「災害時における救護活動や、平時の地域ニーズに応じた防災・減災セミナーの実施など、赤十字のさまざまな活動が、県民や企業をはじめとする多くの会員の皆さまから寄せられる善意のご寄付によって支えられている。県民の皆さまにおかれましては、今後とも赤十字活動に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます」との呼びかけがあり、宮城副知事がこれを代読いたしました。

また、活動資金第1号贈呈式では、宮城副知事立ち合いのもと、沖縄県金融協会の与儀達樹会長から、日本赤十字社沖縄県支部の上間副支部長へ、300万円が贈呈されました。



左から、宮城副知事、沖縄県金融協会の与儀達樹会長、日本赤十字社沖縄県支部の上間優副支部長（第一号贈呈式）



左から、沖縄県金融協会の知花剛監事代理、与儀達樹会長、宮城副知事、日本赤十字社沖縄県支部の上間優副支部長、真鳥裕茂副支部長、上間司事務局長（出席者）

令和8年全国赤十字大会に参加しました

令和8年5月12日、明治神宮会館（東京都渋谷区）において、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃華子殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、令和8年全国赤十字大会が開催されました。

沖縄県からは、久米島町の中村幸雄副町長をはじめ、沖縄県赤十字有功会や地域赤十字奉仕団など、日頃より赤十字活動をご支援いただいている方々21名で参加いたしました。

大会では、日本赤十字社名誉総裁である皇后陛下より、赤十字活動に尽力された個人および団体の代表に対し、「有功章」が授与されました。

また、日本赤十字社医療センターの看護師である苦米地則子さんによるミャンマー地震での現地活動報告や、島根県立三刀屋高等学校3年の森山あおいさんによる、紙芝居を通じて地域の防災意識向上に取り組む活動紹介が行われました。

さらに、赤十字講習100周年記念特別プログラムでは、全国キャラバンイベントのスタートを切った沖縄県支部の取り組みとして、5月2日に開催した「親子でAED」の様子が紹介されました。





沖縄こどもの国で親子向けイベントを開催しました

5月2日(土)、「沖縄こどもの国フェスティバル 2026」内で、赤十字ブース「親子でAED」を開催しました。

赤十字の沖縄市地区長を務めていただいている花城大輔沖縄市長による、「赤十字では、これからも世の中のニーズに合わせた講習事業の推進に邁進していきます」との力強い開会宣言で始まった当イベントには、約300名の方にご来場いただき、AED体験や缶バッジ作りなどを親子で楽しんでいただきました。

また、オープニングアクトでは、会場の子どもたちと沖縄市赤十字奉仕団の皆さまに、心臓マッサージのデモンストレーションを行っていただきました。



来場いただいた方々からは、「子どもに優しく対応してくれたので、安心して楽しむことができました」

「子どもにも分かりやすい説明で、心臓マッサージの大切さを学ぶことができました」

「かわいいキャラクターもいて、小さい子どもも喜んでいました。家族みんなで赤十字活動に興味がありました」など、嬉しい感想をたくさんいただきました。

日本赤十字社沖縄県支部では、これからも地域に根差したAED講習や防災教育などを実施してまいりますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

たくさんのご来場、ありがとうございました！



赤十字講習 100th

1926(大正15)年に、日本赤十字社が持つ救急や看護のノウハウをわかりやすく一般市民に伝える講習事業を開始して、2026年で100周年の節目を迎えます。

事業に関係いただいた多くの方々に感謝をこめて、全国の赤十字で記念イベントの実施を予定しています。今回実施した沖縄こどもの国でのイベントが全国で1番目のスタートに、各県がそれぞれの特性をいかしたイベントを展開していきます！